

学校名	宮崎県立高鍋農業高等学校
-----	--------------

## 平成30年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

### 1 研究開発課題名

新たな時代の変化に対応できる次世代農業経営者及び関連産業技術者の育成に関する研究  
～ みやざきの発展を担う起業家スピリットとスキルを備えた人材育成を目指して ～

### 2 研究の目的

新たな時代の変化に対応できる次世代農業経営者及び関連産業技術者の育成について、本校の目指す人材像をリンクさせた様々な具体的取り組みを実践することにより、これからのみやざきの農業や関連産業の中核となる担い手を数多く輩出することを目的とする。

### 3 実施期間

契約日から平成31年3月15日まで

### 4 当該年度における実施計画

#### (1) 研究内容

##### 1) 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発

各農場におけるGAP教育の推進と、農場における安全・安心な農業学習に関する研究に取り組む。また、農畜産物のブランド化を目指し、デザイナーを交えた「高農デザインプロジェクト」学習をとおした農畜産物の付加価値向上と新商品開発のスキルを身に付けさせる。

##### (ア) 農場における安全・安心な農業学習に関する取組

- ・ひなたGAP認証取得
- ・GAP教育と農場HACCP教育の推進
- ・地域企業と連携した環境と調和の取れた持続可能な農業学習の実践

##### (イ) 農産物の付加価値向上と新商品に関する取組

- ・商業科目「商品開発」の実践と指導 → 加工品の製品化と販売
- ・食品乾燥技術を活用した新商品の開発
- ・本校及び地域の農産物を使った新たな価値創出と加工品作り

##### (ウ) 農畜産物のブランディング「高農デザインプロジェクト」

##### 2) 模擬株式会社「高農」の設置と経営実践

模擬株式会社「高農」の設置と企画運営を目指し、行政書士など専門家との相談を重ね、進行スケジュールを設定する。その上で、社長を中心に経営戦略会議を開催し、生徒の豊かな発想を色濃く出した企画・運営に取り組む。また、フードビジネスに対応したICTを活

用した栽培管理と原価生産管理の継続研究と高鍋農業高校販売所を活用した流通・販売学習に取り組む。

(ア) 模擬株式会社「高農」の設置と企画運営

(イ) ICTを活用した栽培管理と原価生産管理の継続研究

(ウ) 高鍋農業高校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践と研究

### 3) 関連上級学校や地域との連携や寮教育をととしたキャリア教育の充実

連携協定を締結している大学や農業大学校とのコンソーシアム方式によるプロジェクト学習や共同研究を推進する。デュアルシステムの継続研究に取り組み、教育効果の測定を行い、各学科での導入に向けた検証を行う。夢実現プログラムに基づくキャリア教育を実践し、郷土愛の醸成を図る。

(ア) 関連上級学校との共同研究及び連携推進

・コンソーシアム方式によるプロジェクト学習

(イ) デュアルシステムの継続研究

(ウ) 夢実現プログラムに基づくキャリア教育の実践

○各事業による生徒及び職員の変容が見える化するための具体的評価方法の再検討を行う。

○研究の波及効果を高めるために、Web ページの作成など積極的な情報発信に取り組む。

## (2) 効果測定について

生徒、教師、保護者及び運営指導員からのアンケート調査（自己評価及び他者評価）や、記録簿・レポート等の作品及び資格取得状況などにより客観的に評価する。

**定性目標及び定量目標** 〈 定性目標及び定量目標の効果測定の方法 〉

実施した研究について、4段階で評価し2.8以上を目指す。

#### 【評価者】

- ① 研究に参加した生徒による内部評価
- ② 研究に参加した関連機関（企業）による外部評価
- ③ 研究に携わった教師による内部評価
- ④ 運営指導委員会による外部評価

#### 【評価基準】

- 4 とても満足
- 3 満足
- 2 あまり満足できない
- 1 満足できない

## 1) 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発

	研究開発内容	定性目標の評価項目	定量目標の評価項目	効果測定
流通・販売の分析と新商品開発	(ア) 農場を核とした安全・安心な農業学習に関する取組 ・GAPや農場HACCP教育の推進 ・環境と調和の取れた持続可能な農業学習の実践	●ひなたGAP認証取得に向けた取組はできているか ●環境に配慮した取組ができたか	●GAPや農場HACCPに対する生徒の理解度	・アンケート調査 ・生徒の満足度 ・観察法（行動、発言、実技）
	(イ) 農産物の付加価値向上と新商品に関する取組 ・商業科目「商品開発」の実践と指導～加工品の製品化と販売～ ・食品乾燥技術を活用した新商品の開発 ・本校及び地域の農産物を使った新たな価値創出と加工品作り	●本校農畜産物の品質が向上しているか ●新商品の開発、販売戦略の構築について、教材化できたか ●新商品ができたか ●チャレンジ精神や課題発見力を育成できているか	●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上	・作品法（ノート、レポート、プリント、成果物） ・連携先からの評価
	(ウ) 農畜産物のブランディング「高農デザインプロジェクト」	●ブランディングに対する興味・関心の向上	●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上	

## 2) 模擬株式会社「高農」の設置と経営実践

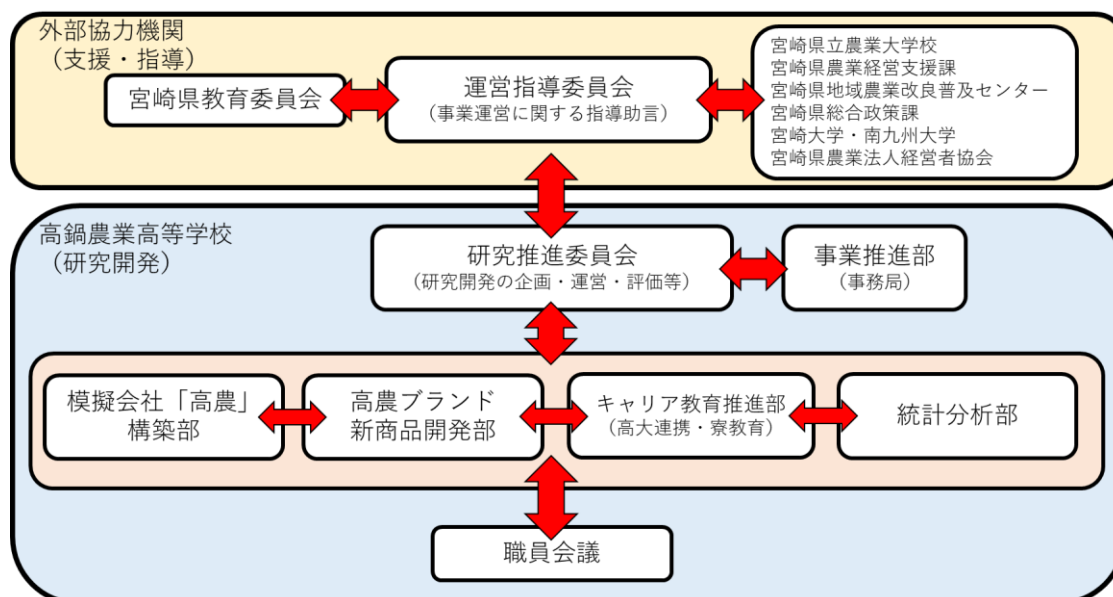
	研究開発内容	定性目標の評価項目	定量目標の評価項目	効果測定
会社経営参画意識の醸成と経営スキルの向上	(ア) 模擬株式会社「高農」の設置と企画運営	●模擬株式会社「高農」の設置・企画運営 ●経営戦略会議の実施 ●チャレンジ精神や課題発見力を育成できているか	●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上	・アンケート調査 ・生徒の満足度 ・観察法（行動、発言、実技） ・作品法（ノート、レポート、プリント、成果物）
	(イ) ICTを活用した栽培管理と原価生産管理の継続研究	●ICTを活用した栽培管理と原価生産管理の実施 ●ICT活用への興味・関心を喚起できているか	●ICT活用に対する生徒理解度・満足度	・来校者の満足度
	(ウ) 高鍋農業高校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践と研究	●販売所の運営 ●市場調査の実施 ●消費者ニーズの理解	●販売所の稼働率 月2回以上	

### 3) 関連上級学校や地域との連携や寮教育をととしたキャリア教育の充実

	研究開発内容	定性目標の評価項目	定量目標の評価項目	効果測定
キャリア教育の充実と発展・人材育成	(ア) 関連上級学校との共同研究及び連携推進 ・コンソーシアム方式によるプロジェクト学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関連上級学校とのコンソーシアム方式のプロジェクト活動が実施できているか</li> <li>●宮崎大学や南九州大学との共同研究が実施できているか</li> <li>●専門性を高めることができたか</li> <li>●チャレンジ精神や課題発見力を育成できているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上</li> <li>●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査</li> <li>・生徒の満足度</li> <li>・観察法（行動、発言、実技）</li> <li>・作品法（ノート、レポート、プリント、成果物）</li> <li>・連携先からの評価</li> </ul>
	(イ) デュアルシステムの継続研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>●勤労観・職業観の育成「デュアルシステム」の継続実施</li> <li>●「デュアルシステム」の教育効果検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受入企業からの評価</li> <li>●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上</li> </ul>	
	(ウ) 夢実現プログラムに基づくキャリア教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寮教育を生かしたキャリア教育の実施</li> <li>●人材育成講演会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の理解度・満足度 4段階評価 2.8以上</li> </ul>	

## 5 実施体制

### (1) 事業実施体制



## (2) 運営指導委員会

氏名	所属・職名	役割分担・専門分野等
中瀬昌之	南九州大学健康栄養学部教授	委員長（座長）
土器一彦	児湯農林振興局次長（兼） 児湯農業改良普及センター所長	指導助言・農業政策
横山英二	高鍋町農業政策課長	指導助言・農業振興
槐島芳徳	宮崎大学農学部准教授	指導助言・連携事業等
木村尚人	大岩建設会社専務	指導助言・会社経営
池田誠	株式会社くしまアオイファーム社長	指導助言・法人経営・農産物輸出
藤藪志保	宮崎県産業振興機構コーディネーター	指導助言・新商品開発・連携事業等
松木成己	高鍋商工会議所専務理事	指導助言・会社経営
長友博文	宮崎県立農業大学校長	指導助言・連携事業等
川越淳一	宮崎県教育庁高校教育課長	指導助言・教育行政

## (3) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割分担・専門分野等
萩原浩二	高鍋農業高等学校・校長	委員長・全体統括
岩切哲郎	高鍋農業高等学校・教頭	副委員長・連絡調整
佐々木真司	高鍋農業高等学校・事務長	副委員長・予算管理・経理事務
村山範朗	高鍋農業高等学校・教諭	研究開発主任（事業統括）
立野秀行	高鍋農業高等学校・主幹教諭	研究開発副主任（事業統括）・農場長
横田雅人	高鍋農業高等学校・教諭	研究開発副主任（事業統括）
弓削順一郎	高鍋農業高等学校・教諭	商品開発部主任
黒木修一	高鍋農業高等学校・教諭	商品開発部副主任
田住智博	高鍋農業高等学校・教諭	模擬株式会社構築部主任
石戸秀一	高鍋農業高等学校・教諭	模擬株式会社構築部副主任
椿本直基	高鍋農業高等学校・教諭	キャリア教育推進部主任
平川孝一	高鍋農業高等学校・教諭	統計分析部主任
中別府勇治	高校教育課産業教育担当・主幹	各プログラムへの指導助言
谷口泰成	高校教育課産業教育担当・指導主事	各プログラムへの指導助言

## (4) 研究開発（事業統括）

氏名	職名	役割分担・担当教科
村山範朗	教諭	主任・教科「農業」（フードビジネス科）
立野秀行	主幹教諭	副主任・教科「農業」（園芸科学科）・農場長
横田雅人	教諭	副主任・教科「農業」（畜産科学科）

## (5) 高農ブランド新商品開発部

氏名	職名	役割分担・担当教科
弓 削 順一郎	教諭	主任・教科「農業」・食品科学科主任・渉外部主任
黒 木 修 一	教諭	副主任・教科「農業」・畜産科学科主任
高 橋 靖 子	教諭	委員・教科「家庭」
黒 木 弘 美	教諭	委員・英語科代表
長 澤 良 彦	教諭	委員・商業科代表
眞 茅 喜 成	教諭	委員・教科「農業」(食品科学科)・専任舎監
根 井 貴 香	教諭	委員・家庭科代表
藤久保 琢 也	教諭	委員・教科「農業」(畜産科学科)
三 輪 敏 史	教諭	委員・教科「農業」(園芸科学科)
平 辻 加 奈	教諭	委員・教科「農業」(フードビジネス科)
甲 斐 みちる	教諭	委員・教科「家庭」
井 上 逸 朗	実習教師	委員・教科「農業」(園芸科学科)
竹 松 信 明	実習教師	委員・教科「農業」(園芸科学科)
門 川 悟	実習教師	委員・教科「農業」(食品科学科)
永 田 祥	実習教師	委員・教科「農業」(畜産科学科)
廻 優 一	実習教師	委員・教科「農業」(畜産科学科)
川田原 正 樹	実習教師	委員・教科「農業」(フードビジネス科)
黒 木 茂 樹	講師	委員・教科「農業」(フードビジネス科)・環境整備部主任
前 田 祐 輝	講師	委員・教科「農業」(食品科学科)

## (6) 模擬株式会社「高農」構築部

氏名	職名	役割分担・担当教科
田 住 智 博	教諭	主任・教科「農業」・フードビジネス科主任
石 戸 秀 一	教諭	副主任・教科「農業」・園芸科学科主任
古 田 栄 三	教諭	委員・教科「農業」(園芸科学科)
黒 木 聖 雄	教諭	委員・教科「農業」(畜産科学科)・専任舎監
柳 田 朋 信	教諭	委員・教科「数学」・数学科代表・生徒指導主事
平 部 和 弥	教諭	委員・教科「農業」(フードビジネス科)・専任舎監
恒 松 数 磨	教諭	委員・教科「農業」(畜産科学科)・専任舎監
池 澤 洋 平	実習教師	委員・教科「農業」(畜産科学科)
日 吉 俊 介	実習教師	委員・教科「農業」(食品科学科)
戸 高 彰 謙	実習教師	委員・教科「農業」(園芸科学科)
津 田 左 知	事務主査	委員・事務部
南 仁 美	事務主査	委員・事務部主任・農場特別会計担当
川 添 亮 平	講師	委員・教科「農業」(フードビジネス科)
谷 本 祥 之	講師	委員・教科「農業」(園芸科学科)

二之宮 綾 乃	講師	委 員・教科「地歴公民」
加 塩 遼	実習教師	委 員・教科「農業」 (フードビジネス科)
坂 本 恭 子	主事	委 員・事務部

(7) キャリア教育推進部

氏 名	職名	役割分担・担当教科
椿 本 直 基	教諭	主 任・教科「農業」 (園芸科学科) ・舎監長
福 光 幸	教諭	副主任・教科「地歴公民」 ・地歴公民科代表・進路指導主事
松 浦 豊	教諭	委 員・教科「農業」 ・専任舎監
岡 田 伸 幸	教諭	委 員・教科「数学」 ・数学科代表
高 山 有 三	教諭	委 員・教科「農業」 ・専任舎監
和 田 隆	教諭	委 員・教科「国語」 ・国語科代表
石 崎 寛 教	教諭	委 員・教科「保健体育」 ・保健体育主任
福 重 美 帆	教諭	委 員・教科「農業」 (畜産科学科)
串 間 勇 哉	教諭	委 員・教科「保健体育」
村 田 ゆかり	技術主査	委 員・栄養士
江 藤 志 朗	実習教師	委 員・教科「農業」 (フードビジネス科)
河 野 裕 人	実習教師	委 員・教科「農業」 (園芸科学科)
戸 高 太 尊	実習教師	委 員・教科「農業」 (畜産科学科)
岡 本 明 美	寄宿舎指導員	委 員・寄宿舎指導員
川 村 裕 子	寄宿舎指導員	委 員・寄宿舎指導員
御手洗 辰 秀	主任主事	委 員・事務部
工 藤 賀 織	主事	委 員・事務部
神宮司 拓 也	講師	委 員・教科「農業」 (食品科学科)

(8) 統計分析部

氏 名	職名	役割分担・担当教科
平 川 孝 一	教諭	主 任・教科「農業」 (食品科学科) ・教務主任
高 山 ひとみ	教諭	副主任・教科「英語」 ・英語科代表
荒 武 みちよ	教諭	委 員・教科「国語」 ・国語科代表・図書部主任
田 原 謙 一	教諭	委 員・教科「保健体育」 ・保健体育代表
成 合 理恵子	教諭	委 員・教科「数学」
市 原 洋 平	教諭	委 員・教科「地歴公民」 ・教育相談部主任
遠 矢 豊	教諭	委 員・教科「理科」 ・理科代表
萬 條 浩 二	実習教師	委 員・教科「農業」 (フードビジネス科)
古 川 ゆかり	養護助教諭	委 員
清 本 杏 奈	養護助教諭	委 員

## 6 会議等実施計画

活動時期	委員会等	内容等
4月	<input type="checkbox"/> 職員会議 <input checked="" type="checkbox"/> 研究担当者会 <input type="checkbox"/> 第1回研究推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究開発の概要について、全職員及び生徒への周知徹底</li> <li>・研究担当者ごとに研究内容の確認と意見交換</li> <li>・研究開発主任を中心とした研究推進委員会の開催</li> </ul>
5月	<input type="checkbox"/> 第2回研究推進委員会	・研究開発の内容と具体的計画のまとめ
6月	<input type="checkbox"/> 第3回研究推進委員会	・第1回運営指導委員会への報告書作成
7月	<input checked="" type="checkbox"/> 第1回運営指導委員会 <input type="checkbox"/> 第4回研究推進委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 研究担当者会 <input type="checkbox"/> 職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営指導委員からの指導</li> <li>・運営指導委員会からの意見の反映と対応</li> <li>・研究担当者ごとに研究開発の進捗状況の確認</li> <li>・研究開発の進捗状況についての確認</li> </ul>
8月	<input type="checkbox"/> 第5回研究推進委員会	・2学期に向けた取組内容の計画
9月	<input checked="" type="checkbox"/> 研究担当者会 <input type="checkbox"/> 第6回研究推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究担当者ごとの2学期の研究計画の確認</li> <li>・研究開発の進捗状況について意見交換</li> </ul>
10月	<input type="checkbox"/> 第7回研究推進委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 第2回運営指導委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回運営指導委員会への報告書作成</li> <li>・運営指導委員会からの指導</li> </ul>
11月	<input type="checkbox"/> 第8回研究推進委員会	・運営指導委員会からの意見の反映と対応
12月	<input type="checkbox"/> 第9回研究推進委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 研究担当者会 <input type="checkbox"/> 職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発の進捗状況について意見交換</li> <li>・研究担当者ごとに研究開発の進捗状況の確認</li> <li>・研究開発の進捗状況についての確認</li> </ul>
1月	<input type="checkbox"/> 第10回研究推進委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果報告書作成	・研究成果報告書作成準備
2月	<input type="checkbox"/> 第11回研究推進委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 第3回運営指導委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表会の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果報告書の内容確認</li> <li>・運営指導委員会からの指導</li> </ul>
3月	<input type="checkbox"/> 第12回研究推進委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省へ事業完了報告書等を提出	・報告書等の内容確認
4～3月 (通年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究開発に取り組むことが生徒の内発的学習意欲を高め、本校が目指す人材を育成していくことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発</li> <li>②模擬株式会社「高農」の設置と経営実践</li> <li>③関連上級学校や地域との連携や寮教育をとおしたキャリア教育の充実</li> </ul>



7 この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交 付 者	交 付 額	交付年度	業務項目

8 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

( ○ ) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(     ) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9 再委託に関する事項

再委託業務の有無     有・無

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等